

リクルートワークス研究所

「労働移動」を再考する研究プロジェクト 「なぜ転職したいのに転職しないのか」報告書を発表

全国就業実態パネル調査 2023 (JPSED) 分析 転職の“都市伝説”を検証する

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）内の、人と組織に関する研究機関・リクルートワークス研究所は、全国およそ5万人の同一個人の就業実態を毎年追跡調査する「全国就業実態パネル調査 (JPSED)」を実施しています。この結果を分析し、『労働移動』を再考する研究プロジェクトでは報告書として「なぜ転職したいのに転職しないのか」を発表いたしました。今の日本における転職の課題とは何か、またその課題は、働く人が自ら乗り越えられるものなのかなど、転職の実態を明らかにしていくことを目的としています。

報告書本編はこちら <https://www.works-i.com/research/works-report/2023/tenshoku.html>

■ 「『労働移動』を再考する」研究プロジェクトについて

転職希望者の約87%は、翌年に転職していません。転職活動者に限定しても約6割という状況です。転職したいのに転職していない理由とは何か？ 本プロジェクトは、転職や就職を希望する個人が「労働移動」できないとき、それを阻害する要因を、定量調査と定性調査を通じて明らかにし、解決するための手立てを見出し、提言していくことを目的としています。

研究プロジェクトページ：<https://www.works-i.com/project/mobility.html>

■ 報告書の内容サマリー

■ PART.1：なぜ転職したいのに、転職していないのか

- ・ 転職希望者の1年後の転職率は2割にも満たない
- ・ 今すぐ転職する必要がないのに、転職を希望する人が3割もいる
- ・ テクノロジー活用などで転職の障壁をなくす工夫を

■ PART.2：転職の都市伝説は、今も存在しているのか

- ・ ブランクの期間が長くなると再就職は難しくなるのか
- ・ 35歳を過ぎて転職すると年収が下がるのか
- ・ 転職回数が増えると転職は難しくなるのか
- ・ 転職による正規雇用への転換は難しいのか
- ・ 女性の方が転職は難しいのか
- ・ 現職よりも大規模な企業への転職は難しいのか
- ・ 未経験職に転職すると年収は下がるのか



■ PART.3：転職者は転職先で評価されているのか

- ・転職でミスマッチを解消する方が男性の年収は向上
- ・ミスマッチ解消を求め転職しても、女性の年収は男性ほど伸びない傾向
- ・どうすれば転職者は定着するのか

■ 転職のイマ 01：誰がどんな転職をしているのか

- ・非正規から正規雇用に転じるケースはどれだけあるのか
- ・専門性の高い業職種ほど、同業職種からの移動が多い

■ 転職のイマ 02：どのように転職をしているのか

- ・転職は短期決戦。積極的に動く人が約半数
- ・転職満足率は6割以上。仕事内容重視の人が多い

リクルートワークス研究所について

リクルートワークス研究所は、1999年1月に設立された、株式会社リクルート内にある人と組織に関する研究機関です。「一人ひとりが生き生きと働ける次世代社会の創造」を使命に掲げ、「労働政策」「労働市場」「組織人事」「個人のキャリア」「キャリア教育」「人材ビジネス」などに関する調査・研究、情報発信、提言活動を行っています。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>